

運動指導場面におけるインストラクターの視覚情報 収集（研究の成果発表）

著者	田淵 規之，風間 弥希子，岡本 英也，長尾 裕史， 上向井 千佳子，金子 靖仙，藤村 友美，梅村 浩之， 村井 昭彦
雑誌名	発表予稿集：情報学シンポジウム
巻	2018
ページ	46
発行年	2018-12-22
出版者	情報学シンポジウム2018実行委員会
著者版フラグ	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10297/00026640

運動指導場面におけるインストラクターの視覚情報収集

田淵規之，風間弥希子，岡本英也，長尾裕史，上向井千佳子，金子靖仙（ミズノ株式会社），藤村友美，梅村浩之，村井昭彦（産業技術総合研究所）

運動の指導を行うインストラクターには，被指導者の運動実施へのモチベーションが高まるように働きかけることが求められ，そのためには，適切な視覚情報収集を行うことが重要であると考えられる．本研究では，インストラクターがどのように視覚情報収集を行っているかを明らかにするため，指導経験の長さが異なる2名のインストラクターを対象として，5名のグループの被指導者に対する運動指導を行っている際の視線の動きを計測した．指導経験の短いインストラクターは中心に座る被指導者に対して視線を配分しやすい傾向を示したのに対し，指導経験の長いインストラクターは全ての被指導者に対してバランスよく視線を配分していた．さらに，このインストラクターによる視線の配分の特性の違いは被指導者にも感じ取られていることを示唆する結果が得られた．